



## 決勝レポート

### 2011/7/17 Rd-3 富士スピードウェイ

天候：晴れ 気温：34℃ 出走台数：16台

観客数：16日（土）7,000人 17日（日）15,800人

午前に行われた予選時から、ぐんぐんと気温は上がり気温34度、路面温度は50度を超える中、44周200kmのスプリントバトルはスタートを迎えた。

5位スタートの塚越選手、10位スタートの伊沢選手ともにスタートはよく、塚越選手4番手、伊沢選手は6番手でオープニングラップを周回。伊沢選手は、バランスの悪化を訴え早期のピットストップを希望したが、レース戦略と周辺状況から10周目にピットイン、ミスなくタイヤ交換と給油を終え1回目のピットストップを消化した。塚越選手は予定通りの14周目ストップ。塚越選手は5番手、伊沢選手は12番手でコースへ戻り、先行車両を追うが抜くには至らず膠着状態となる。伊沢選手は25周目、塚越選手は27周目に2回目のピットストップをミスなく終え、塚越選手は0.1秒の攻防戦で3位争いを、伊沢選手は10番手でシングルフィニッシュ争いを、それぞれ展開するがチャンスなく、塚越選手5位、伊沢選手10位でレースを終えた。

#### 40：伊沢選手 10位

スタートはOK。しかし第1ステイントはバランスが悪く、もう少し早い段階でピットストップできれば違う展開もあったと思います。常にプッシュしミスなく周回をしましたが、ストレートスピードが伸びず苦戦でした。

結果に満足はできませんが、一方で得るものも多くありました。

今回結果を踏まえると、シリーズ上次戦以降はすべて落とせないレースとなります。

暑さも続くので、自分自身のコンディションも整えて、まずは次戦茂木で戦列に帰りたいです。

#### 41：塚越選手 5位

チームは予選およびレースを通してミスなく、自身も出来ることはすべてやって最善を尽くしました。車のバランスもいい状態でしたが、第3セクターを攻略できず、トヨタ勢を負かすに至りませんでした。良い状況を結果に持っていきませんでした。戦略を再考し前進を続けて勝利への精度を上げて行きたいです。